

第83回東伏見スポーツサイエンス研究会

日時 2023年10月10日(火) **16:00~18:00**

場所 早稲田大学79号館(STEP22)304教室

演題

タイミングの社会学

石岡 丈昇(日本大学)

■フィリピン・マニラのボクシング・キャンプでの長期にわたるフィールドワークをもとに、ボクサーの日々の練習や減量過程を、時間論の観点から再構成することが本発表の目的です。フランスの社会学者であるピエール・ブルデューは、「実践はテンポと共にある」と述べました。ボクサーの鍛錬を人と人、あるいは人とモノの関係において流れる時間＝「タイミング」(タイムではなく)という概念から考えることで、いくつかの社会学的論点を取り出したいと思います。

■プロフィール:

1977年岡山市生まれ。専門は社会学／身体文化論。

筑波大学大学院人間総合科学研究科博士課程単位取得退学。北海道大学大学院教育学研究院准教授を経て、現在日本大学文理学部社会学科教授。単著に『ローカルボクサーと貧困世界——マニラのボクシングジムにみる身体文化』(世界思想社、第12回日本社会学会奨励賞)がある。共著に、『質的社会調査の方法——他者の合理性の理解社会学』(岸政彦・丸山里美と共著、有斐閣)、『生活史論集』(岸政彦編、ナカニシヤ出版)、Southern Hemisphere Ethnographies of Space, Place, and Time (R. Rinehart eds., Peter Lang)などがある。



■石岡丈昇(2023)

『タイミングの社会学: デイテールを書くエスノグラフィー』



早稲田大学 スポーツ科学学術院
Faculty of Sport Sciences, Waseda University

世話人: 前田清司・工藤龍太・石津達野
早稲田大学 スポーツ科学学術院
E-mail: ryutak77@aoni.waseda.jp